

検査セミナー

初診時からのゲノム医療

婦人科ではどのように治療計画を立てるのか

日時

令和5年12月2日（土）
14:00～16:00



講演 1

当院の進行卵巣癌に対する
個別化治療の現状

座長

村山 徹

兵庫県立がんセンター 血液内科

演者

澁谷 剛志

兵庫県立がんセンター 婦人科

講演 2

婦人科領域のコンパニオン診断
きほんのき

座長

幸福 淳子

兵庫県立はりま姫路総合医療センター
検査部

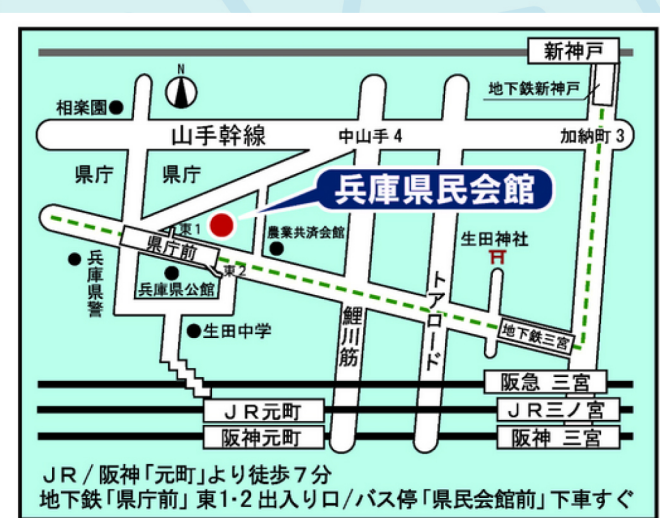
演者

浦川 優作

神戸市立医療センター中央市民病院
遺伝センター

開催場所

兵庫県民会館 パルテホール
神戸市中央区下山手通4丁目 16-3



事前参加登録
受付中

オンライン配信も
開催

兵庫県がん診療連携協議会・（公社）兵庫県臨床検査技師会

世話役 兵庫県立がんセンター 検査技師長 矢野 曜子
（公社）兵庫県臨床検査技師会 会長 真田 浩一

共催 兵庫県がん診療連携協議会・（公社）兵庫県臨床検査技師会

「検査セミナー」

テーマ：初診時からのゲノム医療

～婦人科ではどのように治療計画を立てるのか～

日時 令和5年12月2日（土） 14：00～16：00

場所 兵庫県民会館 パルテホール（神戸市中央区下山手通4-16-3）

悪性腫瘍の発生メカニズムが、遺伝子異常として明らかにされ、その診断、予後予測、治療法の決定に役立つようになってきました。特に治療法の決定においては、多数の分子標的薬が開発され、それを有効に使用するためには、初診時の遺伝子・ゲノム検査が重要となっています。婦人科でも、生殖細胞系列のBRCA1,2 遺伝子変異を原因とする遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）や、ミスマッチ修復（MMR）遺伝子変異（病的バリエーション）を原因として子宮体癌を好発するLynch症候群などの診断、治療法決定に遺伝子・ゲノム検査が必要であり、遺伝子・ゲノム情報を用いた診療が普及しています。

講演1では兵庫県立がんセンターの進行卵巣癌に対する標準的な治療の流れを実際の症例経過を含めながら婦人科医師にご講演頂き、講演2は、遺伝カウンセラーより婦人科領域のBRCAAnalysisやmyChoice、MSIなどのコンパニオン診断についてご講演頂きます。

なお今回も、会場での講演と同時にZOOMを用いたオンライン配信を予定しています。

【プログラム】

13：30～ 受付開始

14：00～ 開会挨拶 富永 正寛（兵庫県がん診療連携協議会議長、兵庫県立がんセンター院長）

14：10～ 座長：村山 徹（兵庫県立がんセンター 血液内科）

講演1. 当院の進行卵巣癌に対する個別化治療の現状

演者：澁谷 剛志（兵庫県立がんセンター 婦人科）

15：10～ 座長：幸福 淳子（兵庫県立はりま姫路総合医療センター 検査部）

講演2. 婦人科領域のコンパニオン診断 きほんのき

演者：浦川 優作（神戸市立医療センター中央市民病院 遺伝センター）

15：50～ 閉会挨拶 真田 浩一（公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 会長）

〈世話役〉 兵庫県立がんセンター 検査技師長 矢野 曜子
（公社）兵庫県臨床検査技師会 会長 真田 浩一